

事務事業名		予防接種事業			会計	一般会計				
課等名		保健課		係等名	健康推進係					
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり						
		施策	31	心と体の健康づくり						
目的	対象(誰・何を)	市内に住民登録のある接種対象年齢の乳幼児、就学児童、中高生及び65歳以上高齢者			対象指標	指標名及び単位			24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	予防接種の接種機会の安定的確保と、接種対象者に対する接種の勧奨				法定集団接種の対象者(通知を送付した数)			3071	
	向上させたい上位施策の成果指標	心身ともに健康であると感じている市民の割合				高齢者予防接種対象者(通知を送付した数)			30478	
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	法定予防接種の中の集団接種(通知送付対象)による接種率(%)			100	90.9	100	100	ポリオワクチンが、平成24年9月から不活化へ移行され、集団接種から個別接種へ変更。	
	成果指標	高齢者予防接種対象者(通知を送付した数)の接種率			70	66	70	70		
定性目標										
事業概要		<p>1「予防接種法」並びに「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(旧結核予防法)」による予防接種の実施                  対象:乳幼児、就学児童、中学1年生～高校1年生、65歳以上                  予防接種:ポリオ、BCG、四種混合、三種混合、MR混合(麻しん、風しん)、麻しん、風しん、日本脳炎、二種混合、インフルエンザ                  2子宮頸がん等ワクチン接種促進事業による予防接種の実施(平成23年1月11日～平成24年度)                  対象:生後2ヶ月以上～5歳未満児、中学1年生～高校1年生(一部高校2年生)の女子(平成22～24年度)</p>								
24年度事業内容		事業内容			名称			活動指標		
		予防接種法、感染症の予防及び感染症の患者に関する法律による、予防接種の実施 対象者に個別通知を郵送、あるいは学校を通じて配布する。 予防接種情報管理システムにより、接種記録の管理体制を整備 (1)集団接種:ポリオ(4月、8月) ※9月から個別接種に切り替わる。 (2)個別接種:BCG(通年) (3)個別接種:三種混合(通年) ※11月から四種混合に変更 (4)個別接種:MR混合(通年) (5)個別接種:麻しん、風しん単独(通年) (6)個別接種:日本脳炎(通年) ※3～4歳児に対し一期(3回)積極的勧奨、小3・小4に対し一期不足分の接種勧奨、一期・二期不足分の接種勧奨 (7)集団接種(小学6年):二種混合(9月) (8)集団接種(中学1年):MR混合(4～7月) (9)個別接種(高校3年):MR混合(通年) (10)高齢者予防接種:インフルエンザ(季節性) (11)子宮頸がん予防ワクチン接種 中学1年生～高校1年生(一部高校2年生)の女子を対象 (12)ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチン接種 2か月児～5歳未満			法定予防接種の中の集団接種通知発送対象者における接種率           (9)高校生予防接種率 (10)高齢者予防接種率			全体 90.9%  (1) 4月66.8%、8月88.0%、9月以降81.8% (2) 81.8% (3) 三混 91.3% 四混 65.0% (4) 93.5% (6) 82.1% (7) 98.2% (8) 98.4% (9) 88.9% (10) 66.0%		
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		304,548	278,823	262,607	239,044	[24特定財源]子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金(1/2)45,471千円(平成25年度から定期接種となる)				
国庫支出金										
県支出金		77,362	45,093	45,471	0					
起債										
その他										
一般財源		227,186	233,730	217,136	239,044					
人件費計(千円)②		15,741		9,447						
正規職員所要時間		3,500		1,800						
臨時職員所要時間		3,000		2,800						
総事業費①+②		320,289	278,823	272,054	239,044					
事業内容・目標達成状況の振り返り		ワクチンの変更、新しいワクチンの導入、予防接種制度の変更が多い一年であった。 ポリオワクチンの変更が直前であったため、新しいワクチン接種を望む保護者の意向もあり、接種率は低下した。								
改革改善の考え方		①問題点 新しいワクチンの導入、任意接種ワクチンを定期接種化する制度改正の動向など、予防接種事業の制度変更が続いている。 ②改革提案 変更に伴う迅速な対応をしていく。接種対象者の利便性と接種率の向上を目指しながら、適切な接種が受けられるようにする。								